

福祉系大学経営者協議会 令和 3 年度第 2 回総会 開催報告

令和 4 年 1 月 25 日(火)、福祉系大学経営者協議会 令和 3 年度第 2 回総会をオンラインで開催し、22 校 37 名にご出席いただきました。

冒頭、丸山悟会長(日本福祉大学 理事長)より、「児童虐待、ヤングケアラー等の深刻な社会問題が起き、子どもや親の孤独・孤立への支援、様々な意味での学びの促進が課題になっている。このことから、“福祉とリカレントを含む教育の連携”が、今日的な福祉のテーマになっているのではないかと私は考えている。本日は、子ども家庭福祉領域の資格創設の検討状況とあわせて、“連携”をキーワードに、福祉を担う社会福祉法人と教育を担う学校法人の連携、地域と大学間のコンソーシアム型の連携等について話題提供をしていただき、大いに議論したい」との開会挨拶がなされました。

続いて、江端源治副会長(関西福祉科学大学 理事長・学園長)の全体進行により、以下を行いました。

■ 話題提供 1 ■

「子ども家庭福祉に関する資格のあり方について(検討状況報告)」と題し、日本ソーシャルワーク教育学校連盟の白澤政和会長にご講演いただきました。子ども家庭福祉ソーシャルワーカーの創設について、社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会等での検討状況をご報告いただき、意見交換を行いました。

■ 総会 ■

令和 3 年度の活動状況について、5 つの委員会（総務・企画／研究活動・教育向上／就職／学生募集戦略検討／大規模災害対応）より報告がなされました。

■ 話題提供 2 ■

「社会福祉連携推進法人制度について」と題し、厚生労働省社会・援護局 宮下雅行福祉基盤課長にご講演いただきました。社会福祉法人と福祉サービスを取り巻く現状を概説した上で、今年 4 月施行の社会福祉連携推進法人制度を紹介され、同法人への期待や大学等の福祉人材養成機関による制度活用について述べられました。その後、意見交換を行いました。

■ 話題提供 3 ■

「公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアムの取り組みについて」と題し、太田晴康理事(静岡福祉大学 学長)にご講演いただきました。コンソーシアム設立の目的と事業概要、静岡福祉大学の関わり、今後の課題が述べられました。

■ 会員校の意見交換 ■

出席校の近況（学内の学部間連携、他大学や自治体との連携、連携教育の内容等）について、情報交換を行いました。

最後に、長谷川匡俊副会長（大乘淑徳学園 理事長）より、「福経協として、引き続き子ども家庭福祉領域の新資格の動向を注視していきたい。本日の2つの話題提供からは、今後あらゆる分野で連携を通じた新しい価値創造が進むと推測される。その意味では、地域共生社会実現のためにも大学もさらに改革を進め、地域との連携を深めていく必要があるのではないか。本日の議論を今後の大学経営に活かしていきたい」とまとめの挨拶がなされ、閉会しました。



丸山悟会長



長谷川匡俊副会長



江端源治副会長